



Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

週報

例会 NO 32 (発行NO)

1991. 6. 26 (発行日)

国際ロータリー第275地区

東京多摩グリーンロータリークラブ

1990～1991

RIテーマ

ロータリーを高めよ

——思いを尽くし熱意を尽くし——

RI会長

パウロV.C.コスタ

1990～ 91会長方針

友情と熱意を育てよう

第32回例会報告 (6/19)

特別代表 由井 重光

拡大補佐 篠塚 武雄

司会 SAA 須藤 起雄

☆ 点 鐘 副会長 赤尾 恭雄

☆ ロータリーソング 「奉仕の理想」

ソングリーダー 菊池 敏

☆ ビジター紹介 副会長 赤尾 恭雄

添田 邦治 分区代理

五十嵐耕司 分区幹事

山本与四郎 (横浜旭RC)

開発 宏 (東京小金井RC)

平 良信 (東京飛火野RC)

須崎 守 (東京飛火野RC)

西尾 正誼 (東京多摩RC)

☆ 会務報告

副会長 赤尾 恭雄

* 会長が現在海外旅行中で代理です。会務報告は後程、幹事報告の中で報告させていただきます。

☆ 幹事報告

幹事 宮本 誠

※他クラブ例会変更

・6/27 調布むらさき→辰巳

・7/30 西南RC→昼例会

・7/18 成城新RC→駒場エミネンス

※昭島中央RC、シティ日本橋RCからCNお礼状が届いています。

※サンリオからチケットを安くする案内が来ています。興味のある方は事務局へご連絡下さい。

※6/26今年度最終例会です。特別メニューで懇親会を行います。是非出席して下さい。

【分区代理退任ご挨拶】 添田 邦治

どうなるかと思って就任したのですが、後10数日残すだけでようやく1年が終わります。東分区としてはガバナーも出られ、新クラブが二つ誕生、直前に狛江多摩川RCがあったので、三つのCNを行いました。地区大会もコホストとして皆様には無理なお願いをして、何とか形がついて年度を終われると思います。皆様のご協力に対して感謝申し上げます。

【分区幹事退任ご挨拶】 五十嵐耕司

残り10日になりました。お蔭様で何とか終われそうです。大変ご協力を賜り有難うございました。1年間を振り返りますと、約128回の事業に参加し、3日に1回分区、分区を飛び回り、ロータリー勉強をさせてもらって、尚且つ色々な方と知り合いが出来たので自分の財産になったと思います。1年間有難うございました。今後とも宜しくお願い致します。



☆委員会報告

★出席委員会

吉尾警太郎

〔出席報告〕

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日報告	39	30		9	76.92%
前回訂正	39	29	5	5	87.20%

〔先週のメークアップ〕

萩生田 (6/11 多摩RC)

増川・吉尾 (6/18多摩RC)

北村 (6/17 調布RC)

小城 (6/11 U.S.A. ラリーRC)

〔欠席届者〕

萩生田、風間、内藤、高野、田中、吉田、奥田

〔欠席者〕

足立、隅

★親睦委員会

北村 幸彦

ニコニコBOX

添田 邦治 分区代理 } 退任挨拶に
五十嵐耕司 分区幹事 } 参りました。

山本与四郎さん(横浜旭RC)

初めて出席させて頂きました。

由井 重光 添田分区代理さん、五十嵐分区幹事さんようこそ、今年度は大変お世話になりました。

篠塚 武雄 おじゃまします。よろしく。

西尾 正誼さん(東京多摩RC)

久方振りにやって参りました。よろしく。

宮本 誠 分区代理、分区幹事をはじめ、大勢のお客様ようこそお出下さいました。

赤尾 恭雄 添田分区代理、五十嵐分区幹事をお迎えして。

永田 健作 貴重な時間を頂きましたので。

(本日イニシエーションスピーチ)

中山 恒武 多摩稲城地区交通安全協会会長を引き受けることになりました。ロータリーの会員の皆様の御協力をお願いする事も多くあると思います。今後とも宜しく。

横倉 恒雄 前回欠席したので。

北村 幸彦 2週間振りで申し訳ありません。

大熊 将夫 SCの篠塚さん、西尾さん、分

区役員の方、平さん、ようこそお出で頂きました。

海野 栄一 父の日のプレゼントをもらったので。

伊神 稔 いつものように。

橋本 幸夫 ニコニコとして。

以上合計 32,000円

イニシエーションスピーチ

〔一所懸命〕

永田 健作

昭和9年4月に岐阜の美濃に生まれ、人生57年をやってきました。家族は妻、長男、次男の4人家族です。終戦が国民学校5年生の時に、特に育ち盛りで食べるのに両親は大変苦労いたしました。家業が印刷業でしたので、農作物がなく、着物や時計、宝石などとお米を交換しての生活でした。この地に高校時代まで過ごし、昭和28年4月夜行列車で8時間かけて東京に参り、中央大学法学部に入学しました。当時は東京もお米が乏しく、また、米穀通帳持参の学生食堂通いの時代でした。余談ですが最初に下宿したのは代田橋の世田谷区松原1-5でございました。今から1ヵ月程前、当時の場所に行ってみましたところ、未だそのままの形で、当時の小学生であった御子息が住んでおられ、大変懐かしい出会いに楽しいひとときを過ごして参りました。

大学3年頃、友達が就職試験もやろうと言いついて、現在在職の会社はその友人の誘いで入社した会社です。大変な就職難の時代でありました。誘ってくれた友人が駄目で運良く私が通り、逆に彼は司法試験を通りこちらは私が駄目でした。今も仲の良い友人であります。なお私共のクラスが卒業時に7月7日をクラス会の日と決め、現在でも毎年開いております。

そこうにお世話になって33年、一所懸命に勤めて今日にいたっております。



先日、樋口さんの書かれた一所懸命という本を読みました。日本人の今日のあるところは一所懸命に守りそれを糧に生産性を上げる歴史が日本の歴史であるという事を学びました。入社して2年目に仲間と計って労働組合の執行委員に立候補し、イデオロギーを主体とした組合から生産性向上を前提とした組合の改革を試みました。全国規模の組合でありユニオンショップ制でありましたので、かなりのエネルギーと時間を費やしました。今は完全に、労使対立から労使協調となり労使一体のエンタプライズとなりました。この間33年間、仕入、販売、企画、宣伝など経理以外すべての部門を経験しました。これらの仕事でパリ・ロンドン・ニューヨークなどほとんど世界の都市を訪問し仕事をしたキャリアがごさいます。

平成元年多摩そごう誕生と同時に有楽町から移籍してまいりまして今日に到っております。全く初めての土地で短期間にこうして地元で長い歴史を持つ方々や、また異なった職種の先輩方々と親しくしていただいたのは、すべてロータリーの会であり、また皆様のお蔭でございます。私の何ものにも代えがたいすばらしい財産であります。そごうは29店舗でございすがすべて現地主義、現地法人であります。私が在籍している多摩そごうを一所に命を懸けて守りますのでロータリーの皆様に育て頂き成長して行きたいと思っております。また、蛇足ながら先祖の、「弘化2年江戸表にて死す。」という古文書がありますので、まんざらこの江戸に住みついた余計者ではないかと思っております。

〔鯉を借りてスタート〕

中山 恒武

生まれは東京、家族は家内と大学1年、高校2年の子供の4名で、住まいは永福町です。今回ロータリーの会には水産加工で入会させて頂きました。何故、多摩市で魚をやっているのかとよく聞かれるのですが、交通の便、その他色々有利な状況の中でやっている訳です。水産加工は珍しいので多摩のサービス、インダストリー、あの辺りの工業誘致の中では敬遠されている会社です。



父が外科医でしたので勤務の関係で立川、吉祥寺で育ちました。小学五年の頃まで骨髄炎に罹りまして、骨を削り取るため入退院を繰り返していらしたので勉強は解からない、スポーツは出来ない、友達からどの位、相手にしてもらえなかったか、宿題もできないと廊下に立たされて、兄は優秀だったので特に対照的に地獄の生活を送っていました。

父は厳しい人で大学は国立か、慶応、早稲田でないといけなと言われて、一年浪人して武蔵工大の機械科に入りました。

学校の卒業生名簿を見ると、大した者もないし部長止まり、そんな程度で良いのかと思って、自分は独立して行くしかない、と大学二年の時からそのつもりで、今魚屋をしています。車のディーラーにも行きました。その頃大学の機械科を出た者は少なく、人事、経理、総務、色々な所をやり、セールスもやりました。

30才になるから会社を辞めようと言う時に、お金でなくて、労働組合に没頭して、組合長までやりました。会社を辞めてから後継ぎを作って迷惑をかけない事に精一杯で辞めたので一年間を遊びました。

銀座あたりをふらふらしたり、あの店が良いのではないか、この店が良いのではないかとか色々考えました。考えた中で魚の釣堀から鯉を借りてスタートしまして職業を一つ食べられるものだけ残して六つか七つ代えました。結局は最後に資金の代わりに魚を借りる事から始め、現在の鯉国という魚を販売する会社があるのです。

最近は自分の所で養殖もしています。温水魚のテレビヤの養殖の為に九州からトラック便で輸送して、多摩近辺に温泉がないので、自分でお湯を作ろうと、産業廃棄物の中間処理でプラスチック関係を主に燃やして熱湯にし、焼却炉もやっていますし、熱利用をしてエサを作る事もしています。

〔自分を過大評価して〕

奥木 博勝

昭和20年8月28日に東京杉並に6人兄弟の末っ子として生まれ、終戦後なのに未だ勝つのだということで博勝と名付けられ、文字通りガキ大将でした。中学時代、軟式テニスで東京都大会、ダブルス準優勝2回、団体戦優勝1回しました。高校は新宿の工学院大学附属高校機械科で3年間に168日特別休暇(?)をもらって、単位を一つも落とさず卒業出来た、変わった記録保持者です。成績も入学時は勉強しまして6/62番、中間は60/62番の大波、卒業時は6/62番にて卒業。

親の紹介で東京日産モーター業務登録課に入社、結婚を境に業務関係では先が知れているので営業に自分より希望して配転しました。配属先は、千代田、中央、港区で営業現役約11年にて1300台販売(年間118台)、金バッチ4回を頂きました。エピソードとして誇れるのは日産自動車、関東、中信越優秀営業部に原稿依頼があり、“名誉の撤退”なる文章を昭和58年に書き、当時大変反発(特に地方ディーラー)を買いましたが、私は“名誉の撤退”が判らない内は日産は進歩なしとツッパリ、3年後、61年に日産自動車教育学校教科書に再度とり上げられ偶然にBel、シーマ、シルビアとホームランが飛び出し、日産が上昇ムードとなりました。・・・要するに精神の持ち方だと思います。

平成元年8月多摩センター(営)所長に42才で就任(会社で一番若い所長)現在45才で最年少所長です。“仕事は厳しく：職場は明るく”をモットーに営業部員には「出来るか、出来ないかではなく、どうやったら出来るか」



考えなさい、その事に意味があると基本姿勢でものの考え方を強く植えつけています。

趣味は溪流釣で1人で溪流に入るのが好きで岩魚、山女魚が専門です。溪流釣りをして覚えた人生に役立つ“諺”を紹介します。

1. 山女魚の隠穴(エゴ)
2. 川の下には川がある
3. 不安あれば大釣あり、されど大釣あれば災いあり

現在のささやかな楽しみは長男(高三)のアメリカンフットボール、次男(中三)のサッカーを家内と盗み応援する事です。小さい頃はよく見に行きましたが、子供が大きくなると「見に来るな」と言われるので、家内と二人で隠れて見に行く事を楽しみにしています。そして今はRCにて他業界の先輩と話し合える事を本当に楽しみにしています。

☆会報委員会より

クラブが出来て初めて仰せつかりました、会報委員会も残り1回です。長いようで短い、短いようで長い1年でした。

とにかく無事に週報を発行する事ができてほっとしています。

振り返りますと毎週反省ばかりでした。

例会の記録を詳しく伝えられなかった。ロータリー情報、例会外のニュースをもっと提供したかった。もっと味のある会報、親しみ易い会報にしたかった。卓話、インニエーションスピーチ、各委員のお話した事が紙面の都合上十分に表現出来なかった。

このような事が心に残ります。ご迷惑をおかけしました。紙面をお借りしてお詫び申し上げます。43回もの目通り、又ご協力頂き有難うございました。

クラブ会報委員会

委員長 橋口 洋三
副委員長 小島周二郎
委員 吉田 文夫



東京多摩グリーンロータリークラブ

*事務局：〒206 東京都多摩市落合 547

多摩センタービル7F ☎ 0423-72-6463

例会日：毎週水曜日 12:30 月の最終例会日 18:30

会長：田中 實 特別代表：由井 重光

幹事：宮本 誠 会報委員長：橋口 洋三

*例会場：多摩そごうデパート7Fサファイアバンケットルーム